

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学 期	担 当 者
解剖生理学総論	1	15	1	1学期	医師 非常勤講師
授 業 目 標					
人体の発生と構造、生命現象を理解する。 筋・骨格系の構造と機能を理解し、人間が動くための身体の仕組みを理解する。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 人体の構造と機能 1) 序章 2) 総論 (タンパク合成)				
2	1. 人体の構造と機能 3) 細胞の構造と機能 (核・細胞小器官と細胞骨格・細胞膜と細胞質・染色体の複製と有糸分裂・染色体とゲノム)				
3	1. 人体の構造と機能 4) 上皮組織 5) 筋組織 6) 結合 (支持) 組織 7) 神経組織 8) 人体の構造				
4	1. 人体の構造と機能 9) 細胞外液 10) 内部環境と恒常性 (ホメオスターシス)				
5	2. 身体の支持と運動 1) 骨格 (骨・軟骨の構造と機能, 代謝障害, 脊柱, 四肢の骨) 2) 関節 (関節の構造と種類) 3) 骨格筋の構造				
6	2. 身体の支持と運動 4) 体幹 (胸部・腹部の筋) 5) 上肢・下肢の骨格筋と筋 6) 殿部の筋・骨盤底筋				
7	2. 身体の支持と運動 7) 頭頸部の骨格筋 8) 筋の収縮の構造とメカニズム				
8	試験				(45分)
授業形態	講義				
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。				
テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院				
その他	学習の前後で模型展示室を活用する 解剖生理学ワークブック 照林社				

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
解剖生理学各論 I	1	30	1	1学期	医師 非常勤講師
授 業 目 標					
呼吸器系、血液・リンパ系、循環器系の臓器の位置、名称、構造、機能を理解し、呼吸器系、血液・リンパ系、循環器系の障害を学ぶ基礎とする。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 呼吸器の構造と機能 1) 上気道				
2	1. 呼吸器の構造と機能 2) 下気道 3) 肺 4) 胸膜と縦隔 (気道・肺) 5) 内呼吸・外呼吸				
3	1. 呼吸器の構造と機能 6) 呼吸運動 (呼吸筋含む) 7) 呼吸気量				
4	1. 呼吸器の構造と機能 8) ガス交換とガスの動き (O ₂ ・CO ₂ の動き、拡散) 9) 肺の循環と血流 10) 呼吸運動の調節				
5	2. 呼吸器の病態生理からみた呼吸機能				
6	3. 血液 1) 血液の組成と機能 2) 赤血球 3) 白血球				
7	4) 血小板 (血液の凝固と繊維素溶解含む) 5) 血漿タンパク質と赤血球沈降速度 6) 血液型 (ABO式Rh式)				
8	5. 血液、リンパ系 (まとめ)				(45分)
9	6. 循環器系の構成 1) 体循環と肺循環 2) 動脈・静脈・毛細血管 (1)2) で全身の循環含む: 脳循環) 3) 門脈系 7. 心臓の構造 (冠循環含む) と機能				
10	8. 血液の循環の調節 1) 心臓の収縮 (心拍出量と血圧) 2) 血圧 3) 血液循環 4) 血圧・血流量の調節				
11	9. 高血圧と動脈硬化 10. リンパ系の仕組みと働き 1) 微小循環				
12	11. 心臓の拍出機能 1) 心臓の興奮とその伝播 (刺激伝導系) 2) 心電図				
13	11. 心臓の拍出機能 3) 心周期 4) 心室の圧-容積関係				
14	12. 末梢循環系の構造				
15	12. 末梢循環系の構造 13. 胎児の血液循環				
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院			
その他		解剖生理学ワークブック 照林社			

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
解剖生理学各論Ⅱ	1	30	1	1学期	医師 非常勤講師
授 業 目 標					
内分泌系、消化器系、腎・泌尿器系（排泄系）、生殖器系の臓器の位置、名称、構造と機能を理解し、内分泌系、消化器系、腎・泌尿器系（排泄系）、生殖器系消化器系の障害を学ぶ基礎とする。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 内分泌系による調節 1) 視床下部-下垂体系 2) 甲状腺 3) 副甲状腺（カルシウム代謝含む） 2. ホルモンの調整と実際				
2	3. 副腎髄質・副腎皮質ホルモン				
3	4. 口・咽頭・食道の構造と機能 1) 口腔の構造と機能（歯・咀嚼も含む） 2) 咽頭の構造と機能（嚥下含む）				
4	4. 口・咽頭・食道の構造と機能 3) 食道の構造と機能 5. 腹部消化管の構造と機能 1) 胃の構造と機能				
5	5. 腹部消化管の構造と機能 2) 小腸の構造と機能 3) 大腸の構造と機能（消化管運動・反射も含む）				
6	6. 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 1) 肝臓の構造と機能				
7	6. 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 1) 肝臓の構造と機能 2) 腹膜				
8	6. 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 3) 胆嚢・胆道の構造と機能 4) 膵臓の構造と機能（ホルモンとの関係も含む）				
9	7. 腎臓の構造と機能 8. 尿生成メカニズム				
10	9. 腎における体液の調節 1) 尿細管の構造と機能（抗利尿ホルモン含む） 2) 傍糸球体装置の構造と機能 （レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系含む）				
11	10. 泌尿器系臓器の解剖生理 1) 尿管・膀胱・尿道の構造と機能 2) 尿の貯蔵と排尿				
12	11. 男性生殖器の構造と機能 1) 精巣・精巣上体・付属生殖腺の構造と機能 2) 精子の形成				(45分)
13	12. 女性生殖器の構造と機能 1) 卵巣 2) 卵管・子宮・膣 3) 外陰部・会陰 4) 乳腺 13. 胎児と胎盤 1) 胎盤と臍帯 2) 生殖器の分化と発達				
14	14. 受精と胎児の発生 1) 生殖細胞と受精 2) 初期発生と着床 3) 胚子の形成と分化				
15	15. 女性生殖期の生理機能 1) 生殖機能: 卵巣周期・月経周期 2) 思春期における性成熟 3) 妊娠中のホルモン分泌と妊娠の維持				
16	試験				(45分)
授業形態	講義				
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。				
テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院				
その他	解剖生理学ワークブック 照林社				

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
解剖生理学各論Ⅲ	1	30	1	1学期	医師 非常勤講師
授 業 目 標					
脳・神経系、感覚器系の臓器の位置、名称、構造と機能を理解し、脳・神経系、感覚器系の障害を学ぶ基礎とする。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 神経系の構造と機能 1) 神経細胞と支持細胞 2) ニューロンでの興奮伝導 3) シナプスでの興奮の伝導 4) 神経系の構造 (体性神経・自律神経系含む)				
2	2. 脳と脊髄 1) 脊髄の構造と機能 (脊髄反射含む) 2) 脳の構造と機能 (脳幹・小脳・間脳)				
3	2. 脳と脊髄 3) 脳の構造と機能 (大脳・脳室と髄膜・脳脊髄液の循環)				
4	3. 脳神経と脊髄神経 1) 脊髄神経の構造と機能				
5	4. 脳神経と脊髄神経 1) 脳神経の構造と機能				
6	5. 脳と高次機能 1) 脳波と睡眠 2) 記憶 3) 本能行動と情動行動				
7	5. 脳と高次機能 4) 内臓調節機能 (自律神経系: 交感神経・副交感神経)				
8	5. 脳と高次機能 5) 中枢神経系の障害				
9	6. 運動機能と下行性伝道路と上行性伝道路 1) 運動ニューロン 2) 下行伝導路				
10	6. 運動機能と下行性伝道路と上行性伝道路 3) 上行伝導路 7. 疼痛 (内臓感覚と受容器含む) 1) 痛みの分布 2) 疼痛の発生機序				
11	8. 感覚機能 1) 感覚の種類 2) 感覚の種類 3) 体性感覚の受容器の種類 4) 皮膚の感覚受容器の分布				
12	脳・神経系 (まとめ)				(45分)
13	9. 眼の構造と視覚 1) 眼球の構造 (眼球付属器含む) 2) 視覚 (視力と視野・色覚・眼球調節・視覚伝導路・眼球に関する反射)				
14	10. 耳のしくみと平衡感覚 1) 耳の構造 2) 聴覚・聴力 3) 平衡器官の構造と平衡覚				
15	11. 味覚と嗅覚 1) 味覚器と味覚 2) 嗅覚器と嗅覚				
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院			
その他		解剖生理学ワークブック 照林社			

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学 期	担 当 者
生化学	1	30	1	1学期	非常勤講師
授 業 目 標					
人間の人体の構成成分である科学物質の性状、その分布及び代謝について学び、人間の生命現象を科学的に判断する基礎的能力を養う。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 生化学とは				
2	2. 生体の化学の基礎知識①				
3	2. 生体の化学の基礎知識②				
4	3. 代謝の基礎				
5	4. 酵素と補酵素、ビタミン				
6	5. 酵素の阻害				
7	6. 糖質の構造と機能				
8	7. 糖質代謝				
9	8. 脂質の機能と構造				
10	9. 脂質代謝				
11	10. タンパク質の機能と構造				
12	11. タンパク質代謝				
13	12. シグナル伝達				
14	13. がんとその治療法				
15	14. 全体のまとめ				(45分)
16	試験				(45分)
授業形態	講義				
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。				
テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能〔2〕生化学 医学書院				
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
栄養学	1	15	1	2学期	栄養士
授 業 目 標					
人間の生命の維持、成長、臓器・組織の正常な機能の維持に必要な栄養の基礎を理解する。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 人間の栄養学と看護 1) 栄養と栄養素 2) 栄養学の歴史 2. 健康づくりと食品・食事・食生活 1) 食品と食品群 2) 食の安全				
2	3. 栄養状態の評価・判定（栄養状態のアセスメント） 1) 栄養状態の評価・判定の定義と目的 2) 栄養状態の評価・判定法				
3	4. 栄養素の種類と働き				
4	5. エネルギー代謝 6. 栄養素の消化・吸収 7. 栄養素の体内代謝				
5	8. 栄養ケアマネジメント				
6	9. ライフステージと栄養				
7	10. 臨床栄養 1) 病院食 2) 栄養補給法				
8	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
食事療法	1	15	2	1学期	栄養士
授 業 目 標					
食事療法の基礎を理解し、健康の維持・回復に必要な食事について理解する。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 栄養食事療法とは 1) 食事療法の概要 2) 医療福祉の場における栄養食事療法 2. 栄養食事療法の実際 1) 病人食の分類と特徴 2) 栄養補給法 3) 栄養アセスメントの基本				
2	3. 症状を持つ患者の栄養食事療法 4. 呼吸器疾患患者の栄養食事療法				
3	5. 循環器疾患患者の栄養食事療法 6. 消化器疾患患者の栄養食事療法				
4	7. 腎疾患患者の栄養食事療法 8. 栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法 「肥満・メタボリックシンドローム」、「エネルギー・タンパク欠乏症」、 「ビタミン・ミネラル欠症」、「糖尿病」、「脂質異常」、 「高尿酸血症・痛風」				
5	9. 血液疾患患者の栄養食事療法 10. 熱傷・褥瘡の栄養食事療法 11. 精神・神経疾患患者の栄養食事療法				
6	12. 妊産婦・更年期・小児疾患患者の栄養食事療法 13. 高齢者の栄養食事療法				
7	14. 術前・術後の栄養管理 15. がん患者の栄養食事療法 16. 医療保険制度・介護保険制度と食事				
8	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
薬理学	1	30	1	2学期	薬剤師
授 業 目 標					
現代における薬物治療について理解する。 代表的な薬物の特徴、作用機序、人体への影響及び薬物の取り扱い、管理について理解する。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 薬理学の概念 2. 薬理作用 3. 薬効に影響を及ぼす要因 4. 薬の有害作用				
2	5. 抗がん剤				
3	6. がん性疼痛と医療用麻薬 7. 漢方				
4	8. 末梢・中枢神経系に作用する薬物				
5	9. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 10. 栄養管理				
6	11. 免疫関連の薬物 12. 輸血				
7	13. 抗感染性薬概論（抗菌薬・抗ウイルス薬含む） インターフェロン				
8	14. 心臓・血管系に作用する薬物				
9	15. 物質代謝に関連する薬剤（血糖降下薬含む） ホルモン				
10	16. 薬物中毒 17. 救急時使用の薬物 18. 消毒薬 19. 輸液				
11	20. 抗アレルギー薬 21. 抗炎症薬 22. 皮膚科用薬 23. 眼科用薬				
12	24. 抗HIV薬				
13	25. 看護業務に必要な薬の知識				(45分)
14	26. 臨床研究と治験				
15	全体のまとめ				
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [3] 薬理学 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床薬理学 医学書院			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
病理学総論	1	30	1	2学期	非常勤講師
授 業 目 標					
疾病の本態である炎症、腫瘍、奇形等、病因と病変の特徴について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 病理学とは 2. 病理学診断				
2	3. 細胞や組織に生じる変化 1) 循環障害				
3	2) 血栓症				
4	3) ショック 4) DIC				
5	5) 炎症 6) 壊疽				
6	7) 腫瘍①				
7	7) 腫瘍②				
8	細胞や組織に生じる変化（まとめ）				
9	4. 異常状態に影響する個体の条件 1) 免疫				
10	2) 感染症				
11	3) アレルギー 4) 自己免疫疾患 5) 移植				
12	6) 老化（老化と死） 7) 老年症候群 8) 遺伝子異常				
13	9) 代謝障害（萎縮・過形成・壊死・変性・アポトーシス）				
14	10) 先天異常				
15	異常状態に影響する個体の条件（まとめ）				(45分)
16	試験				(45分)
授業形態	講義				
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。				
テキスト	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 病理学 医学書院				
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学 期	担 当 者
病理学各論 I	1	30	1	2学期	医師 非常勤講師
授 業 目 標					
運動器系、呼吸器系疾患の病因、病態、症状の特徴と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力、判断力の根拠となる知識を学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 運動器疾患の症状とその病態生理・診断・検査・治療・処置 2. 疾患の理解（骨折）				
2	3. 上肢および上肢帯の疾患 （骨折・脱臼・神経損傷・筋腱の損傷含む）				
3	4. 下肢および下肢帯の疾患 （骨折・脱臼・神経損傷・筋腱の損傷含む） 1) 骨盤～大腿部				
4	4. 下肢および下肢帯の疾患 （骨折・脱臼・神経損傷・筋腱の損傷含む） 2) 膝関節～下腿部				
5	4. 下肢および下肢帯の疾患 （骨折・脱臼・神経損傷・捻挫・筋腱の損傷含む） 3) 足関節部 5. 先天性疾患 6. 骨・関節の炎症性疾患（リウマチ含む）				
6	7. 骨腫瘍および軟部腫瘍 8. 代謝性骨疾患 9. 進行性神経疾患				
7	10. 脊椎の疾患 1) 頸部・胸部・頸部				
8	10. 脊椎の疾患 1) 頸部・胸部・頸部				(45分)
9	11. 呼吸器症状（喀痰、血痰・咯血、咳嗽、呼吸困難等） 12. 呼吸器疾患の病態生理 1) 感染症（かぜ、肺炎、インフルエンザ）				
10	12. 呼吸器疾患の病態生理 2) 肺炎 3) 肺真菌症 4) 結核 5) 間質性肺炎				
11	12. 呼吸器疾患の病態生理 6) サルコイドーシス 7) 好酸球性肺炎 8) じん肺 9) 悪性胸膜中皮腫 10) 過敏性肺炎 11) 気管支喘息 12) COPD他				
12	12. 呼吸器疾患の病態生理 13) 肺血栓塞栓症 14) 呼吸不全 15) 気胸				
13	13. 検査 14. 呼吸管理（気道確保など）				
14	15. 肺がんに必要な解剖・検査について				
15	16. 肺がんのステージと治療方針について				
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 成人看護学[10] 運動器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [2] 呼吸器 医学書院			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
病理学各論Ⅱ	1	30	1	2学期	医師 非常勤講師
授 業 目 標					
循環器系、血液・造血器・リンパ系疾患の病因、病態、症状の特徴と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力、判断力の根拠となる知識を学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 循環器疾患の症状とその病態生理				
2	2. 循環器疾患に関する検査と治療				
3	3. 疾患・症状の理解 1) 虚血性心疾患：労作性狭心症・不安定狭心症				
4	2) 不整脈				
5	3) 心筋梗塞 4) 心不全（右心不全・左心不全・心タンポナーデ）				
6	4) 心不全（右心不全・左心不全・心タンポナーデ） 5) 高血圧・肥満・メタボリックシンドローム				
7	4. 心臓の手術				
8	5. 疾患・症状の理解（外科治療） 1) 心筋保護 2) 心臓弁膜症 3) 心内膜炎 4) 虚血性心疾患 5) 心臓腫瘍 6) 不整脈以外の外科治療				
9	7) 心臓移植（心筋症含む） 8) 動脈疾患（大動脈瘤・大動脈解離・閉塞性動脈硬化症） 9) 静脈疾患（静脈瘤・静脈血栓症） 10) 先天性心疾患 11) 補助循環				
10	6. 血液・造血器・リンパ系疾患の症状とその病態生理 1) 貧血（鉄欠乏・巨赤芽球性）				
11	1) 貧血（再生不良性貧血・造血性貧血） 2) 輸血について				
12	3) 出血傾向と凝固・線溶系の異常（出血傾向・出血性素因・出血性疾患）				
13	4) 白血病・白血球減少症				
14	5) 悪性リンパ腫				
15	6) 多発性骨腫瘍				(45分)
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器 医学書院			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
病理学各論Ⅲ	1	30	2	1学期	医師
授 業 目 標					
消化器、内分泌・代謝系疾患の病因、病態、症状の特徴と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力、判断力の根拠となる知識を学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 消化器系疾患の症状と病態生理（食道） 1) 逆流性食道炎 2) 食道がん				
2	2. 消化器系疾患の症状と病態生理（胃・十二指腸） 1) 胃炎 2) 胃・十二指腸潰瘍 3) 胃がん				
3	3. 消化器系疾患の症状と病態生理（腸・腹膜） 1) 腸炎 2) 虫垂炎 3) 大腸がん 4) イレウス 5) 腹膜炎				
4	4. 消化器系疾患の症状と病態生理（肝臓・胆嚢・膵臓） 1) 肝炎 2) 肝硬変症 3) 肝不全 4) 肝臓がん 5) 胆石症				
5	4. 消化器系疾患の症状と病態生理（肝臓・胆嚢・膵臓） 6) 胆管がん 7) 膵炎 8) 膵臓がん 9) 胆嚢がん				
6	5. 消化器外科総論				(45分)
7	6. 消化器系疾患の症状と病態生理（外科領域：大腸） 1) 大腸（大腸がん） 2) イレウス 3) ヘルニア 4) 肛門疾患				
8	6. 消化器系疾患の症状と病態生理（外科領域：食道・胃） 4) 食道（アカラシア、食道憩室、胃食道逆流症、 腐食性食道損傷、食道癌） 5) 胃（機能的ディスペプシア、胃炎、消化性潰瘍、 胃ポリープ、胃粘膜下腫瘍、胃癌）				
9	6. 消化器系疾患の症状と病態生理（外科領域） 6) 周手術期の栄養管理				
10	6. 消化器系疾患の症状と病態生理（外科領域：肝臓・胆嚢・膵臓） 7) 肝臓（肝細胞癌）＊胆汁代謝・排泄の障害の内容含む 8) 胆嚢（胆管炎、急性胆嚢炎、膵胆管合流異常症と先天性胆管 拡張症、総胆管結石症、胆嚢がん） 9) 膵臓（膵臓癌）				
11	7. 内分泌・代謝系疾患の症状と病態生理				
12	8. 内分泌・代謝系疾患の検査（副腎ホルモン検査）				
13	9. 内分泌・代謝系疾患の症状と病態生理 1) 下垂体の疾患・甲状腺・副甲状腺の疾患、 2) 副腎の疾患・多発性内分泌腫瘍				
14	3) 糖尿病				
15	4) 脂質異常症・高尿酸血症と痛風 5) メタボリックシンドローム・肥満				
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 医学書院			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
病理学各論Ⅳ	1	30	2	1学期	医師
授 業 の ね ら い					
腎・泌尿器、生殖器疾患、自己免疫疾患の病因、病態、症状の特徴と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力、判断力の根拠となる知識を学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 泌尿器系の病態生理のメカニズム 2. 検査（各種検査・画像検査） 3. 泌尿器系疾患・症状 1) 尿路結石				
2	2) 排尿障害 3) 尿路の通過障害 4) 尿路感染症 5) 性機能障害				
3	6) 泌尿器腫瘍学（腎腫瘍・副腎腫瘍・膀胱腫瘍）				
4	7) 男性生殖器系の腫瘍学（前立腺がん、精巣腫瘍検査） 8) 腎移植				
5	4. 腎・泌尿器系疾患・症状 1) 尿管がん 2) 膀胱がん				(45分)
6	4. 腎・泌尿器系疾患・症状 1) 腎不全 2) 慢性腎臓病 3) 原発性糸球体腎炎 4) 腎結石 5) 腎盂腎炎				
7	4. 腎・泌尿器系疾患・症状 6) 水・電解質の異常 7) 浮腫 8) 脱水 9) 酸・塩基平衡の障害				
8	5. 腎・泌尿器系疾患の検査・治療・処置				
9	6. 女性生殖器系疾患・症状・検査・治療 1) 子宮頸がん 2) 子宮体がん				
10	3) 子宮筋腫・子宮内膜症（病態、症状、治療、検査） 4) 卵巣腫瘍・卵巣癌（病態、種類、治療、検査）				
11	5) その他婦人科の癌 6) 不妊症（検査・治療）				
12	7. 自己免疫疾患 1) SLE 2) シェーングレイン症候群 3) 膠原病 4) 敗血症				
13	8. ヒト免疫不全ウイルス（HIV）				
14	9. 放射線医学 （特に放射線治療・放射線防護について）				
15	10. 女性生殖器のがんの放射線検査、放射線治療				
16	試験				(45分)
授業形態	講義				
評価方法	筆記試験および授業中の課題による評価。 但し、受験資格は履修規定、第7条によるものとする。				
テキスト	1) 系統看護学講座 成人看護学〔8〕腎・泌尿器 医学書院 2) 系統看護学講座 成人看護学〔9〕女性生殖器 医学書院 3) 系統看護学講座 成人看護学〔11〕アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 4) 系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 医学書院				
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
病理学各論V	1	30	2	1学期	医師
授 業 の ね ら い					
脳・神経、感覚器系疾患の病因、病態、症状の特徴と検査・治療について理解し、看護実践における健康・疾病に関する観察力、判断力の根拠となる知識を学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 脳神経系疾患の症状とその病態生理 (意識障害・高次機能障害・運動機能障害・感覚機能障害)				
2	1. 脳神経系疾患の症状とその病態生理 (自律性のある機能の障害・頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア・髄膜刺激症状・頭痛)				
3	2. 検査・診断と治療・処置				
4	3. 脳神経系疾患・症状 1) 脳卒中 (くも膜下出血、脳出血、脳梗塞) 2) 脳腫瘍				
5	3) 頭部・脊椎外傷 4) 脊髄損傷 5) 脳脊髄液の異常				
6	6) 末梢神経障害 (ギランバレー症候群・単神経障害) 7) 圧迫性神経障害 (顔面神経麻痺)				
7	8) 神経・筋疾患 (重症筋無力症・筋ジストロフィー・ALS) 9) 脱髄・変性疾患 (多発性硬化症・パーキンソン病)				
8	10) 脳神経系の感染症 (脳炎・髄膜炎) てんかん				
9	11) 認知症 (アルツハイマー病・血管性認知症、レビー小体型認知症)				(45分)
10	5. 眼科系疾患の症状とその病態生理 1) 眼底検査 2) 視機能に関連した症状 3) 眼機能の障害				
11	5) 白内障の診断と治療 6) 緑内障、網膜硝子体疾患の診断と治療				
12	6. 耳鼻科系疾患の症状とその病態生理 1) 難聴 2) メニエール病 3) 咽頭炎 4) 副鼻腔炎				
13	7. 頭頸部腫瘍の症状と病態生理 1) 咽頭がん 2) 喉頭がん				
14	8. 口腔管理と口腔外科疾患の症状と病態生理 (う歯・歯周病、舌がん含む)				
15	9. 皮膚疾患の症状と病態生理 (湿疹・アトピー性皮膚炎・带状疱疹・疥癬・蜂窩織炎・ 接触性皮膚炎、蕁麻疹、熱傷含む)				
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [12] 皮膚 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [13] 眼 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 [15] 歯・口腔 医学書院			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
微生物学	1	30	1	1学期	非常勤講師
授 業 目 標					
感染症や伝染病の要因として重要な病原微生物の特徴、生体に及ぼす影響、消毒法や検査法について理解し、予防、検査、治療について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 微生物と微生物学				
2	2. 細菌の性質				
3	3. 病原細菌と細菌感染症				
4	3. 病原細菌と細菌感染症				
5	4. ウイルスの性質				
6	5. おもなウイルスとウイルス感染症				
7	5. おもなウイルスとウイルス感染症				
8	6. 真菌の性質 7. 病原真菌と真菌感染症				
9	8. 寄生虫と衛生動物				
10	9. 感染とその防御 10. 感染と感染症				
11	11. 感染に対する生体防御機構				
12	12. 滅菌と消毒				
13	13. 感染症の検査と診断				
14	14. 感染症の治療 15. 感染症の現状と課題				
15	全体のまとめ				(45分)
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [4] 微生物学 医学書院			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
診断治療論	1	15	1	2学期	臨床検査技師 放射線技師 臨床工学技士
授 業 目 標					
医療における多職種的位置づけと役割を理解した上で、診断に必要な検査と治療を安全に実施するための環境や条件について学び、検査データや画像診断など客観的データと結びつけ、身体の状態を把握する。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 診断に必要な検査 1) 臨床検査技師の位置づけと役割 2) 検査の目的と意義 3) 検査の種類 (検体検査・生体検査)				
2	2. 生体検査の実際 心電図検査・呼吸機能検査の看護 1) 12誘導心電図 2) ホルター心電図 3) モニター心電図 4) 負荷心電図 5) 呼吸機能検査 (ス ^π イロメター)				(講義/演習)
3	3. 放射線を使用した検査・治療 1) 放射線技師の役割 2) 画像診断・放射線治療の役割 3) 放射線医学の歴史 4) 放射線防護				
4	4. 画像診断検査 看護師の役割 1) 画像診断に使用する機器の種類と特徴 2) X線撮影 3) 消化管の画像診断検査 4) CT検査 5) MRI検査 6) 核医学検査 7) 造影検査				
5	5. 治療で使用するME機器 1) 臨床工学技士の位置づけと役割 2) ME機器の種類 3) 多職種連携				
6	6. 治療で使用するME機器 ME機器の取り扱い① 4) 人工透析 5) 人工呼吸器				(講義/演習)
7	7. 治療で使用するME機器 ME機器の取り扱い② 6) 輸液ポンプ・シリンジポンプの目的・適応・使用時の観察 7) 輸液ポンプ・シリンジポンプの操作				(講義/演習)
8	試験				(45分)
授業形態		講義および演習			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		系統別看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
保健医療論	1	15	2	2学期	医師
授 業 目 標					
現代の保健・医療・福祉の抱えている問題点と、その問題発生の背景を知ることにより、専門職として社会に貢献する方向性・視点について理解する。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 医学・医療のあゆみ				
2	2. 健康と疾病 1) 健康の概念 2) 疾病 3) 生活と健康				
3	3. 医学と医療				
4	4. わが国の医療供給体制				
5	5. 施設内医療から地域医療へ 1) 地域医療連携 2) 保健・医療・福祉の連携				
6	6. 現代医療における諸問題（1） 1) 医療における患者の権利 2) 病状告知 3) 死と生命保持、安楽死、死を共有する				
7	6. 現代医療における諸問題（2） 4) 医療の進歩と医の倫理 5) 脳死と臓器移植				
8	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		新体系看護学全書 現代医療論 メヂカルフレンド社			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
公衆衛生学	2	30	2	1学期	非常勤講師
授 業 目 標					
個人および集団の生涯を通じての健康増進、疾病予防の考え方を理解し、疾病構造の変化や在宅療養者の問題などの公衆衛生活動について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 健康の概念と公衆衛生学				
2	2. 人口統計と保健統計(人口統計)				
3	2. 人口統計と保健統計(保健統計)				
4	3. 衛生行政と地域保健 4. 疫学(概要、疫学の要因など)				
5	4. 疫学(指標、スクリーニングなど)				
6	4. 疫学(観察研究、介入研究など)				
7	5. 母子保健 6. 学校保健				
8	7. 成人保健 8. 高齢者保健				
9	9. 感染症				
10	10. 食品衛生				
11	11. 国民栄養				
12	12. 環境保健				
13	13. 社会保障と社会福祉 14. 精神保健と障害者福祉				
14	15. 産業保健				
15	16. 国際保健				(45分)
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 金原出版 国民衛生の動向			
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
社会福祉	2	30(45)	2	1学期	非常勤講師
授 業 目 標					
社会福祉の発達、理論、社会福祉制度と専門的方法、社会保障制度について理解するとともに、国民の福祉に対するニーズに応えるための方法や制度、サービスの活用について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 社会福祉とは何か				
2	2. 社会保障制度の概要				
3	3. 社会福祉の歴史的展開／社会福祉の法制度体系				
4	4. 障害者福祉				
5	5. 子ども家庭福祉				
6	6. 高齢者福祉と介護保険制度（1）				
7	6. 高齢者福祉と介護保険制度（2）				
8	7. 医療保険制度				
9	8. 公的年金制度				
10	9. 雇用保険制度・労災保険制度				
11	社会保険制度のまとめ				
12	10. 公的扶助（生活保護制度）				
13	10. <映像作品を通して> 生活保護制度の現場				
14	11. 困難を抱える人を支えるということ ～制度の活用とソーシャルワーク～				
15	まとめ・補足				
授業形態	講義				
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。				
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障 社会福祉 医学書院 社会保障入門 中央法規出版				
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学期	担 当 者
社会福祉	2	15(45)	2	2学期	非常勤講師
授 業 目 標					
社会福祉の発達、理論、社会福祉制度と専門的方法、社会保障制度について理解するとともに、国民の福祉に対するニーズに応えるための方法や制度、サービスの活用について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	12. 民間の社会福祉活動と地域福祉				
2	12. <映像作品を通して> コミュニティソーシャルワーク				
3	13. 社会福祉の現場 (1: NPO法人での地域実践経験を題材に)				
4	13. <映像作品を通して> 医療ソーシャルワーク				
5	13. 社会福祉の現場 (2: 障害者福祉/児童福祉/介護の現場経験を題材に)				
6	おさらい (国家試験の出題基準や過去問題を中心に)				
7	まとめ・補足				
8	試験				(45分)
授業形態	講義				
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。				
テキスト	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[3] 社会福祉 社会保障 医学書院 社会保障入門 中央法規出版□				
その他					

【専門基礎分野】

科 目	単 位	時間数	配当年次	学 期	担 当 者
関係法規	1	30	2	2学期	非常勤講師 経営企画室長
授 業 目 標					
保健医療福祉制度に関する法律について理解し、看護上の法的責任を学ぶ。更に人々の健康を守るためのサービス提供機関と医療従事者の役割・機能に関する基本的な法律について学ぶ。					
時	授 業 内 容				備 考
1	1. 法の概念 2. 保健衛生法 1) 共通保健法 (1) 地域保健法、健康増進法				
2	2) 分野別保健法 (1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (2) 母子保健法 (3) 母体保護法				
3	2) 分野別保健法 (4) 学校保健安全法 (5) 個別対策法 3) 感染症に関する法 (1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (2) 新型インフルエンザ等対策特別措置法				
4	4) 感染症に関する法 (3) 予防接種法 4) 検疫法 5) 食品に関する法 6) 環境衛生法 (1) 営業 (2) 環境整備				
5	3. 社会保険法 1) 医療・介護の費用保障 (1) 健康保険法 (2) 国民健康保険法 (3) 高齢者の医療の確保に関する法律 (4) 介護保険法				
6	2) 年金 (1) 国民年金法 (2) 厚生年金保険法 4. 福祉法 1) 福祉の基盤 (1) 社会福祉法 (2) 生活保護法 (3) 共通的な各福祉法 2) 児童分野 (1) 児童福祉法 (2) 個別の児童法 3) 高齢分野 (1) 老人福祉法 (2) 個別の高齢者法 4) 障害分野 (1) 障害者基本法 (2) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (3) 個別の障害者法 5) 手当				
7	5. 環境法 1) 環境保全の基本法 2) 公害防止の法 3) 自然保護法				
8	保健医療制度の法律 (まとめ)				
9	6. 看護法：保健師助産師看護師法等				
10	6. 看護法：看護師等人材確保の促進に関する法律 7. 医事法：医療法				
11	7. 医事法：医療法				
12	7. 医事法：医療関係資格法				
13	7. 医事法：保健医療福祉資格法、医療を支える法 8. 薬務法：薬事一般に関する法律				
14	9. 麻薬毒物等 10. 社会保険法：国家公務員共済組合法				
15	11. 労働法と社会基盤整備：労働基準法、労働安全衛生法 他				(45分)
16	試験				(45分)
授業形態		講義			
評価		筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。			
テキスト		系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 医学書院			
その他					